

【宜野湾市】R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
・ライフスタイルや価値観の 多様化が進む中で、地域に おける支え合いやつながりが 希薄化している。 ・児童生徒を取り巻く環境が 複雑化、高度情報化するな か、地域住民と児童生徒が 学び合える環境づくりが求 められている。	・市内13小中学校中、 11校に推進員を配置し た。 ・市内9小学校中、4小 学校で放課後子ども教 室を実施した。	・市内全小中学校に地域学校協働活 動推進員を配置する。 ・推進員は学校と地域の連絡調整等 を担い、地域ボランティアを学校の取 組みや放課後子ども教室につなげて いく。 ・地域ボランティアが、様々な体験活 動の機会を児童生徒に提供する。	・学校を中心として、地域で子 どもたちの成長を支え、相互 に学び合える環境づくりが図 られる。 ・地域の大人の学びや自己 実現、生きがいづくりにつな がる。	・放課後子ども教 室にまた参加した い人の数 ・地域ボランティア としてまた参加した い人の数	150	人	170	170	03 本年度 の目標値を 達成し、課題 の改善が見 られた	・長らく推進員を配置できなかった学校に配置できたこ とにより、ボランティアの活動の幅が広がった。 ・放課後子ども教室が昨年度より1か所増え、より多く の場所で児童への体験活動の機会が提供された。 ・一部の学校では、教職員に向け、地域コーディネー ターの存在や役割を、十分に浸透させきれていない。 ・学校に向け、地域ボランティアの活用事例を情報発 信し、地域コーディネーターの活用促進を図る。